

施設基準に適合するものとして承認がなされた高度先進医療
(平成18年1月承認分)

医 療 機 関 名	高度先進医療技術の名称
<ul style="list-style-type: none"> ・大阪大学医学部附属病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・画像支援ナビゲーション手術 ・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療 ・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療
<ul style="list-style-type: none"> ・大阪市立大学医学部附属病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物大臓器立体モデルによる手術計画
<ul style="list-style-type: none"> ・香川大学医学部附属病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・悪性腫瘍の遺伝子診断
<ul style="list-style-type: none"> ・九州大学病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓移植手術 ・膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術
<ul style="list-style-type: none"> ・福岡大学病院 <p style="text-align: center;">(合計 5 医療機関)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・画像支援ナビゲーション手術 ・腹腔鏡下前立腺摘除術 <p style="text-align: center;">(合計 9 件、8 種類)</p>

(参考1)

技 術 の 概 要

高度先進医療技術名	実施医療機関数	申請医療機関名	所在地	病床数	担当科	技 術 の 概 要	申請までの実績 (症例数)	算定開始 年月日	特定療養費分	高度先進医療 に係る費用
画像支援ナビゲーション手術	3医療機関 (18.1.1現在)	大阪大学医学部附属病院	大阪府吹田市	1076床	脳神経外科	術前の画像診断による病変の位置の情報と術中の手術部位の情報を精密に統合し、手術の進行に合わせて画面表示することにより、安全に根治性の高い手術を行うことができる。	168例	18. 2. 1	144万2千円 (入院29日間)	7万円 (1回)
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	3医療機関 (18.1.1現在)	大阪大学医学部附属病院	大阪府吹田市	1076床	麻酔科	全身麻酔下、腹臥位で内視鏡を硬膜外腔に挿入し、病的所見を認めた部位で癒着剥離、炎症物質の灌流、局所麻酔薬・ステロイド投与を行うことにより、低侵襲で治療を行うことができる。	55例	18. 2. 1	28万7千円 (入院5日間)	32万8千円 (1回)
三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	1医療機関 (18.1.1現在)	大阪大学医学部附属病院	大阪府吹田市	1076床	整形外科	術前・術後にデジタル画像撮影、三次元画像構築・モデル構築を行う。より適切な手術計画がたてられる他、術中ナビゲーションにより手術の安全性、正確性が向上し、術中のX線曝露も減少する。	50例	18. 2. 1	153万7千円 (入院26日間)	14万9千円 (1回)
実物大臓器立体モデルによる手術計画	16医療機関 (18.1.1現在)	大阪市立大学医学部附属病院	大阪府大阪市	1020床	脳神経外科	CT(コンピューター断層撮影)等の画像データから実物大立体モデルを作成し、手術方法の計画を立てる。	13例	18. 2. 1	228万7千円 (入院39日間)	9万4千円 (1回)
悪性腫瘍の遺伝子診断	14医療機関 (18.1.1現在)	香川大学医学部附属病院	香川県木田郡	613床	第二外科	微量の組織・体液等からDNA(細胞核にあるデオキシリボ核酸)を増幅し、腫瘍にある特異的な遺伝子の変異を検索する。	52例	18. 2. 1	3千円	5万1千円 (1回)

高度先進医療技術名	実施医療機関数	申請医療機関名	所在地	病床数	担当科	技術の概要	申請までの実績 (症例数)	算定開始 年月日	特定療養費分	高度先進医療 に係る費用
心臓移植手術	2医療機関 (18.1.1現在)	九州大学病院	福岡県 福岡市	1275床	心臓外科	脳死者から摘出した心臓を移植する治療法。	—	18. 2. 1	—	272万7千円 (1回)
膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術	2医療機関 (18.1.1現在)	九州大学病院	福岡県 福岡市	1275床	第一外科	腹腔鏡補助下に腓体尾部切除を行う。	10例	18. 2. 1	54万3千円 (入院19日間)	29万1千円 (1回)
画像支援ナビゲーション手術	3医療機関 (18.1.1現在)	福岡大学病院	福岡県 福岡市	915床	脳神経外科	術前の画像診断による病変の位置の情報と術中の手術部位の情報を精密に統合し、手術の進行に合わせて画面表示することにより、安全に根治性の高い手術を行うことができる。	147例	18. 2. 1	218万5千円 (入院39日間)	3万円 (1回)
腹腔鏡下前立腺摘除術	19医療機関 (18.1.1現在)	福岡大学病院	福岡県 福岡市	915床	泌尿器科	限局性の前立腺癌の患者に対し、腹腔鏡を用いて前立腺を摘出する治療法。従来の根治的前立腺摘除術と比較して、より低侵襲な手術が可能になり、患者の肉体的負担が軽減す	11例	18. 2. 1	45万8千円 (入院18日間)	34万3千円 (1回)

承認がなされた高度先進医療技術の施設基準

高度先進技術名：実物大臓器立体モデルによる手術計画（頭蓋顎顔面領域の骨変形、欠損又は骨折に係るものに限る。）

イ 主として実施する医師又は歯科医師に係る基準

- ・専ら形成外科、脳神経外科、耳鼻いんこう科、小児外科、眼科又は歯科口腔外科に従事していること。
- ・日本形成外科学会の認定する形成外科専門医、日本脳神経外科学会の認定する脳神経外科専門医、日本耳鼻咽喉科学会の認定する耳鼻咽喉科専門医、日本小児外科学科の認定する小児外科専門医、日本眼科学会の認定する眼科専門医又は日本口腔外科学会の認定する口腔外科専門医であること。
- ・当該療養について五年以上の経験を有すること。
- ・当該療養について五例以上の症例を実施していること。

ロ 保険医療機関等に係る基準

- ・形成外科、脳神経外科、耳鼻いんこう科、小児外科、眼科又は歯科口腔外科、及び麻酔科を標榜していること。
- ・当該療養を実施する診療科において、常勤の医師又は歯科医師が二名以上配置されていること。
- ・麻酔科において、医師が配置されていること。
- ・当該療養を実施する診療科において、当直体制が整備されていること。
- ・緊急の場合における手術を実施する体制が整備されていること。
- ・二十四時間院内検査を実施する体制が整備されていること。
- ・当該療養について五例以上の症例を実施していること。

高度先進技術名：悪性腫瘍の遺伝子診断（胃がん、大腸がん、膵臓がん、肺がん、膀胱がん、乳がん及び子宮がんその他の固形腫瘍に係るものに限る。）

イ 主として実施する医師に係る基準

- ・専ら内科、呼吸器科、消化器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、小児外科、泌尿器科、産婦人科又は耳鼻いんこう科に従事していること。
- ・日本内科学会の認定する内科専門医、日本呼吸器学会の認定する呼吸器専門医、日本消化器病学会の認定する消化器病専門医、日本小児科学会の認定する小児科専門医、日本外科学会の認定する外科専門医、日本整形外科学会の認定する整形外科専門医、日本脳神経外科学会の認定する脳神経外科専門医、日本胸部外科学会及び日本呼吸器外科学会の認定する呼吸器外科専門医、日本小児外科学会の認定する小児外科専門医、日本泌尿器科学会の認定する泌尿器科専門医、日本産科婦人科学会の認定する産婦人科専門医又は日本耳鼻咽喉科学会の認定する耳鼻咽喉科専門医であること。
- ・当該療養について三年以上の経験を有すること。
- ・当該療養について三例以上の症例を実施していること。

ロ 保険医療機関等に係る基準

- ・内科、呼吸器科、消化器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、小児外科、泌尿器科、産婦人科又は耳鼻いんこう科を標榜していること。
- ・当該療養を実施する診療科において、常勤の医師が二名以上配置されていること。
- ・病理の検査を実施する部門が設置され、専ら病理の診断を実施する医師が配置されていること。
- ・当該療養を実施する診療科において、当直体制が整備されていること。
- ・緊急の場合における手術を実施する体制が整備されていること。
- ・二十四時間院内検査を実施する体制が整備されていること。
- ・倫理審査委員会が設置されていること。
- ・当該療養について三例以上の症例を実施していること。

高度先進技術名：画像支援ナビゲーション手術（頭頸部若しくは脊髄の腫瘍又は血管病変に係るものに限る。）

イ 主として実施する医師に係る基準

- ・専ら整形外科又は脳神経外科に従事していること。
- ・日本整形外科学会の認定する整形外科専門医又は日本脳神経外科学会の認定する脳神経外科専門医であること。
- ・当該療養について五年以上の経験を有すること。
- ・当該療養について五例以上の症例を実施していること。

ロ 保険医療機関等に係る基準

- ・整形外科又は脳神経外科、及び麻酔科を標榜していること。
- ・当該療養を実施する診療科において、常勤の医師が二名以上配置されていること。
- ・麻酔科において、医師が配置されていること。
- ・病理の検査を実施する部門が設置され、専ら病理の診断を実施する医師が配置されていること。
- ・当該療養を実施する診療科において、当直体制が整備されていること。
- ・緊急の場合における手術を実施する体制が整備されていること。
- ・二十四時間院内検査を実施する体制が整備されていること。
- ・当該療養について五例以上の症例を実施していること。

高度先進技術名：硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療（腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛（保存治療に抵抗性のものに限る。）に係るものに限る。）

イ 主として実施する医師に係る基準

- ・専ら整形外科又は麻酔科に従事していること。
- ・日本整形外科学会の認定する整形外科専門医又は日本麻酔科学会の認定する麻酔科専門医であること。
- ・当該療養について五年以上の経験を有すること。
- ・当該療養について、当該療養を主として実施する医師として十例以上及び当該療養の補助を行う医師として十例以上の症例を実施していること。

ロ 保険医療機関等に係る基準

- ・整形外科及び麻酔科を標榜していること。
- ・当該療養を実施する診療科において、常勤の医師が三名以上配置されていること。
- ・整形外科及び麻酔科において、医師が配置されていること。
- ・当該療養を実施する診療科において、当直体制が整備されていること。
- ・緊急の場合における手術を実施する体制が整備されていること。
- ・二十四時間院内検査を実施する体制が整備されていること。
- ・倫理審査委員会が設置されていること。
- ・当該療養について十例以上の症例を実施していること。
- ・承認後六月の間又は当該療養を十例実施するまでの間は、一月に一回、地方社会保険事務局長に対し当該療養の実施状況について報告すること。

高度先進技術名：三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療

イ 主として実施する医師に係る基準

- ・専ら整形外科に従事していること。
- ・日本整形外科学会の認定する整形外科専門医であること。
- ・当該療養について五年以上の経験を有すること。
- ・当該療養について五例以上の症例を実施していること。

ロ 保険医療機関等に係る基準

- ・整形外科及び麻酔科を標榜していること。
- ・当該療養を実施する診療科において、常勤の医師が二名以上配置されていること。
- ・麻酔科において、医師が配置されていること。
- ・当該療養を実施する診療科において、当直体制が整備されていること。
- ・緊急の場合における手術を実施する体制が整備されていること。
- ・二十四時間院内検査を実施する体制が整備されていること。
- ・当該療養について五例以上の症例を実施していること。

高度先進技術名：心臓移植手術(拡張型心筋症又は拡張相の肥大型心筋症に係るものに限る。)
イ 主として実施する医師に係る基準
専ら心臓血管外科に従事していること。
ロ 保険医療機関等に係る基準
・移植関係学会合同委員会において、当該療養を実施するものとして選定された施設であること。 ・承認後六月の間又は当該療養を五例実施するまでの間は、一月に一回、地方社会保険事務局長に対し当該療養の実施状況について報告すること。

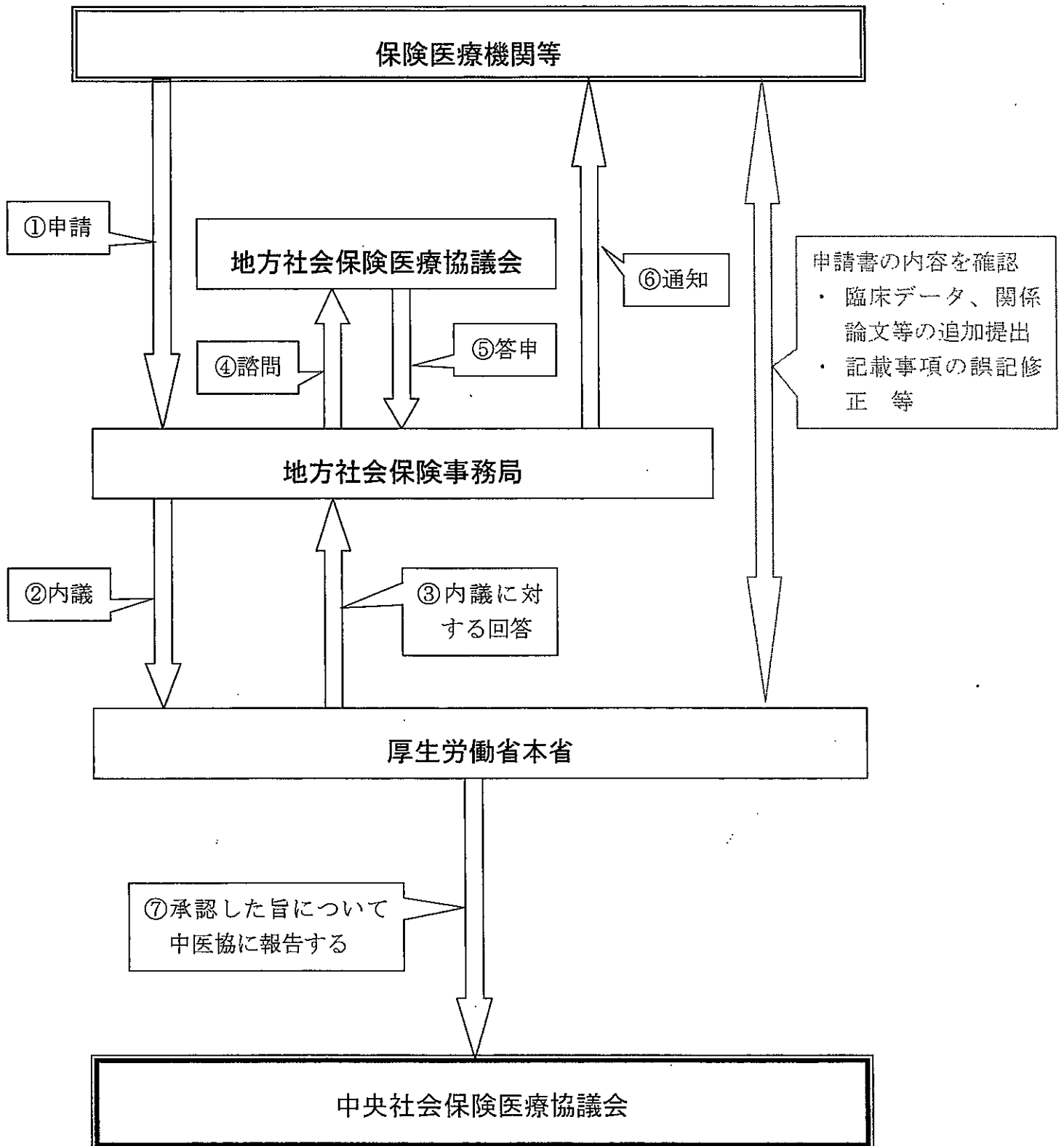
高度先進技術名：腹腔鏡下前立腺摘除術(前立腺がん(限局性のものに限る。))に係るものに限る。)
イ 主として実施する医師に係る基準
・専ら泌尿器科に従事していること。 ・日本泌尿器科学会の認定する泌尿器科専門医であること。 ・当該療養について五年以上の経験を有すること。 ・当該療養について、当該療養を主として実施する医師として十例以上及び当該療養の補助を行う医師として十例以上の症例を実施していること。
ロ 保険医療機関等に係る基準
・泌尿器科及び麻酔科を標榜していること。 ・当該療養を実施する診療科において、常勤の医師が三名以上配置されていること。 ・麻酔科において、医師が配置されていること。 ・病理の検査を行う部門が設置され、専ら病理の診断を実施する医師が配置されていること。 ・当該療養を実施する診療科において、当直体制が整備されていること。 ・緊急の場合における手術を実施する体制が整備されていること。 ・二十四時間院内検査を実施する体制が整備されていること。 ・倫理審査委員会が設置されていること。 ・当該療養について十例以上の症例を実施していること。 ・承認後六月の間又は当該療養を十例実施するまでの間は、一月に一回、地方社会保険事務局長に対し当該療養の実施状況について報告すること。

高度先進技術名：膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)
イ 主として実施する医師に係る基準
・専ら外科又は消化器科に従事していること。 ・日本消化器外科学会の認定する消化器外科専門医であること。 ・当該療養について五年以上の経験を有すること。 ・当該療養について、当該療養を主として実施する医師として十例以上及び当該療養の補助を行う医師として十例以上の症例を実施していること。
ロ 保険医療機関等に係る基準
・外科又は消化器科、及び麻酔科を標榜していること。 ・当該療養を実施する診療科において、常勤の医師が三名以上配置されていること。 ・麻酔科において、医師が配置されていること。 ・病理の検査を実施する部門が設置され、専ら病理の診断を実施する医師が配置されていること。 ・当該療養を実施する診療科において、当直体制が整備されていること。 ・緊急の場合における手術を実施する体制が整備されていること。 ・二十四時間院内検査を実施する体制が整備されていること。 ・倫理審査委員会が設置されていること。 ・当該療養について十例以上の症例を実施していること。 ・承認後六月の間又は当該療養を十例実施するまでの間は、一月に一回、地方社会保険事務局長に対し当該療養の実施状況について報告すること。

(参考3)

改定後の高度先進医療の承認までの流れ

(実施医療機関の要件が設定されている場合)



(参考4)

特定承認保険医療機関の取扱いについて

(平成17年8月31日保発第0831001号)

地方社会保険事務局長宛 厚生労働省保険局長通知

(抜粋)

3 特定承認保険医療機関における高度先進医療

(2) 施設基準の設定されている高度先進医療に係る特定承認保険医療機関の承認の取扱い

既に施設基準の設定されている高度先進医療について、保険医療機関又は特定承認保険医療機関から、施設基準に適合するものとして特定承認保険医療機関の承認の申請があった場合には、施設基準への適合性を審査した上で承認した旨を厚生労働大臣は中央社会保険医療協議会に報告するものとする。